

経営比較分析表（令和4年度決算）

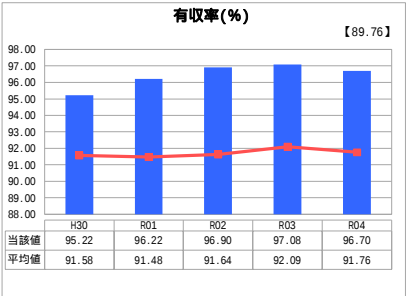
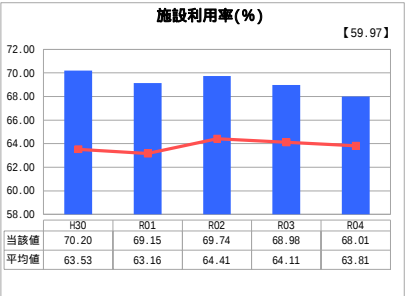
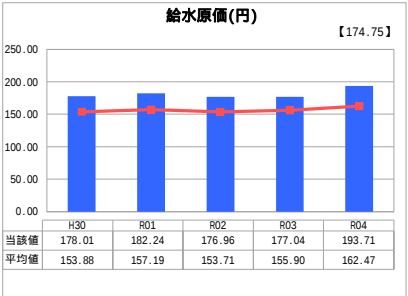
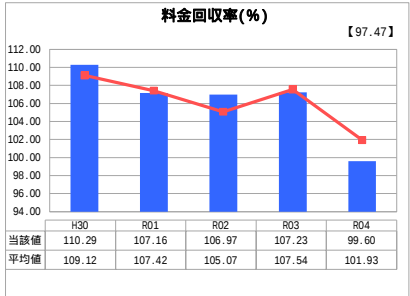
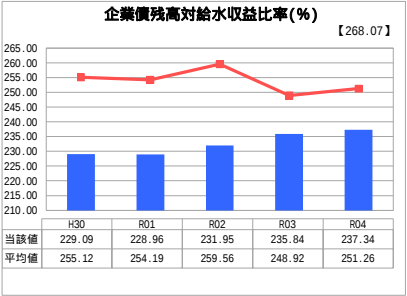
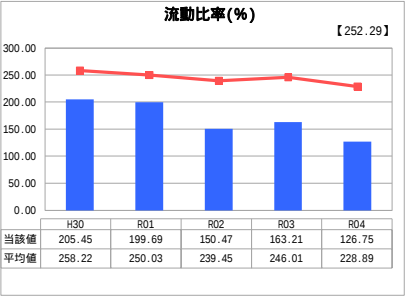
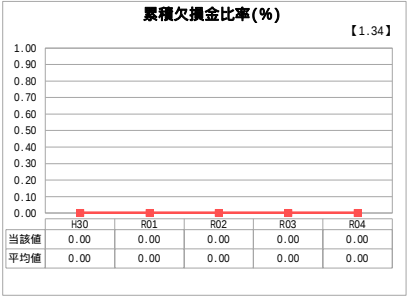
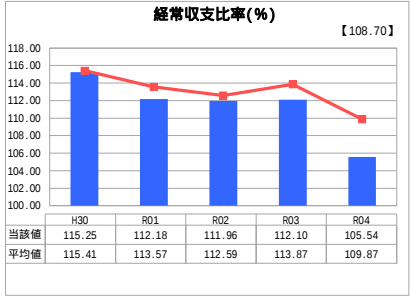
千葉県

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	78.69	84.38	2,690	

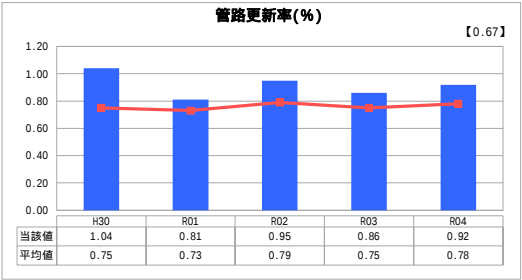
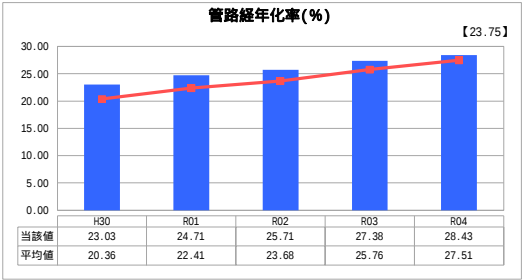
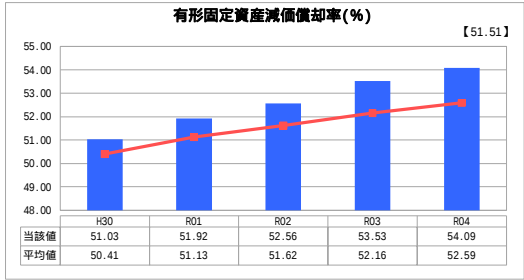
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,310,075	5,156.72	1,223.66
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,072,430	566.37	5,424.78

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」は、100%以上を維持しており、健全な経営を行っています。

「流動比率」は、100%以上を維持しており、短期的な債務に対する支払い能力を有しています。

「企業債残高対給水収益比率」は、企業債残高の増等の影響により上昇傾向ですが、類似団体平均値を下回っています。

「料金回収率」は、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を下回りました。

「給水原価」は、管路や設備の更新に伴う減価償却費や、燃料費高騰に伴う電気料金などの動力費の増加、有収水量の減少により、増加しています。

「施設利用率」及び「有収率」は、類似団体平均値を上回り、施設の効率的な運用を行っています。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」及び「管路経年化比率」は、類似団体と同様に上昇傾向にあり、施設の老朽化が進行しています。

「管路更新率」は、類似団体平均値を上回っており、比較的順調に管路更新を進めています。

全体総括

上水道事業は、将来的に現在給水区域の給水人口が減少と転ずると予想されるなど、給水収益の伸びを見込むことは困難な状況になってきている一方、老朽化した浄・給水場や水道管路の更新・整備に今後、多額の建設事業費が必要となります。

さらに、昨今の資材価格や労務単価、電気料金の急激な高騰を受け、より厳しい経営状況となっていく見通しですが、中期経営計画等に沿って計画的に事業を実施し、健全な経営に努めてまいります。